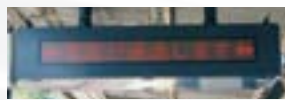


# 駅の安全性向上

## 列車接近表示装置

お客さまに列車の接近をお知らせします。



## ITV (監視用テレビ装置)

ホーム形状や構造物などにより見通しが悪い駅では、カメラとモニターで安全確認を行います。



ITV装置

## ホーム異常通報装置

お客さまが転落するなど危険な状況を発見した際に押すと、乗務員および駅係員に異常を知らせて事故を未然に防止します。



非常通報ボタン

## ホーム下待避スペース・ステップ

万一お客さまが転落した場合に安全が確保できる待避スペースや、ホームへ上がるためのステップです。

## ホーム転落検知装置

お客さまの線路への転落などを検知し、乗務員や駅係員に伝えます。



ホーム転落検知装置

## ホーム足下灯

乗降時の転落防止用の照明灯を設置し、注意喚起をしています。

## ホーム点字ブロック内方線とホーム先端明示線

ホーム点字ブロック(ホーム縁端警告ブロック)内方線は、視覚に障がいをお持ちの方が、駅のプラットホームをご利用になる際、点字ブロックよりホーム中心側に立たれているのか線路側に立たれているのかをお知らせするためのもので、ホーム下への転落事故の防止に効果があります。

当社では、より安全・安心な駅を目指し、平成22年3月末をもって、全88駅・全ホーム208カ所(京都市交通局管理の御陵駅を除く)に設置を完了しています。

また、ホームと車両の間隙が大きい一部のプラットホームでは、ホーム先端明示線によりお客さまへの注意喚起を促しています。



ホーム点字ブロック内方線



先端明示線

## とじめ 戸閉合図装置

駅係員から車掌に列車の扉を閉める時機を知らせる装置で、京阪線13駅に設置しています。ラッシュ時やイベント開催の多客時などに使用され、扉開閉時の事故防止に役立っています。



戸閉合図装置

## 平成25年度 安全重点施策の目標

### 駅の安全性向上

ホーム異常通報装置については、平成25年度に国が指導するすべての駅の整備を完了します。

また、ホーム改良工事を実施し安全性を向上させるほか、バリアフリー対応として、列車接近表示装置の整備や誘導鈴装置の更新などを実施します。